

災害時の連絡

CONTACT

連絡手段



公衆電話

公衆電話は、通常の電話よりもつながりやすく、災害時には無料で使用できる。※通話時には10円硬貨が必要(通話後に返却)。



携帯電話

通話規制や、基地局の倒壊、停電等で音声通話がつながりにくくなる可能性も。比較的つながりやすいと言われるパケット通信を利用したメールや災害用伝言サービスを活用しましょう。



PC・スマートフォン

メールや、ツイッター・フェイスブック等のソーシャルメディアが有効。使用するにはネット環境と電源が必要。充電切れに備え、充電器等を常備しておく。

災害用伝言サービス



災害用伝言ダイヤル「171」

【利用方法】
171をダイヤル

登録可能番号

すべての電話番号

固定電話は被災地域の市外局番に限る

保存期間

サービス終了時まで

登録件数

1~20件

web171の伝言も再生可能

録音時間

30秒/件

一度に録音できる時間は30秒と短いため、安否の確認、今いる場所、これからどうするかを簡潔に録音する。原稿をあらかじめ作成しておくと良い。



災害用伝言板

【利用方法】
各社公式メニュー専用アプリから

登録可能番号

携帯の電話番号

登録時は自動的に登録され入力不要

保存期間

サービス終了時まで

登録件数

10件

ソフトバンクは80件



災害用伝言板 web171

【利用方法】
「web171」で検索

登録可能番号

すべての電話番号

携帯、PHS、IP電話の番号でも登録可能

保存期間

最大6ヶ月

登録件数

20件

携帯各社伝言板の伝言も一括検索可能

録音時間

100字/件

100字/件

あらかじめ登録をしておけば、災害用伝言板登録時に自動的に登録お知らせメールを送ることができる。家族や友人を登録しておこう。

各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日・1月1日～1月3日・防災週間(8月30日～9月5日)・防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)に体験利用することができます。

地震発生時の避難手順

EVACUATION

手順
1

揺れが収まるまで動かず、身の安全を守ってください



立っている方は近くの椅子に座るか、机の下で頭を守るようにしてください。



グラスをお持ちの方はテーブルに置いてください。



立ち上がりなさい。上から物が落ちてくる恐れがあります。

手順
2

揺れが収まったら、避難経路からスタッフの指示に従って順に屋外へ。



手荷物は持たないでください。
身軽に動けるように、避難を優先させます。



避難経路の安全を確認でき次第、スタッフの誘導に従い、一列になって避難してください。



案内があるまで、席を立たないようにお願い致します。



大勢が出口に殺到すると危険です。



揺れは収まりましたが、再度揺れる可能性があります。一列でご移動をお願いします。

手順
3

外に出たら建物から離れて待機してください。



全員の方の避難が終わるまで、その場で待機をお願いします。

火災の場合の注意点

 低い姿勢で避難 煙を吸わない様に口をハンカチやナフキンでふさぐ

避難経路図

WENDIA
DISASTER MANUAL

EVACUATION ROUTE MAP

1F

2F

